

大本大阪本苑だより

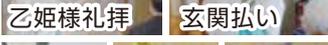
発行所
〒557-0012
大阪市西成区聖天下1丁目3-14
大本大阪本苑
☎ (06) 6651-5670
Fax (06) 6651-6611

節分 立春をむかえ暖かい日差しのもと

大阪本苑 2月月次祭執行

2月12日午前10時、2月とは思えぬ陽気の中、大本大阪本苑2月月次祭が齋主乾清高参事のもと、厳肅に執行された。祭典は、祓式行事、献饌、齋主「月次祭祝詞・誕生祭祝詞」「世界平安安全祈願祝詞並びに新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞」奏上と続き玉串捧奠では、齋主、天声社猪子恒社長、各代表、参拝者・誕生祭参拝者代表が各々捧げた。神言奏上、讚美歌斉唱。続いて、乙姫様礼拝の後、祭員・伶人退殿。神門参事による「おほもとしんゆ」拝読。本苑長挨拶では節分大祭の教主様のごあいさつを代読した後、『今年の節分大祭は、1月末の10年に一度の記録的寒波による影響が懸念されましたが、無事執行されました。裏方でご奉仕され

ました皆さまご苦労様でした。教主さまは節分大祭のご挨拶の中で、『みろくの世へと向かうため、私たちは一人ひとりが心の岩戸を開いて神さまのみ光を頂き、自らの心に潜む慢心や取り違い「われよし、強いもの勝ち」の心、執着心を取り払い、生まれ赤子のような素直な心で発根から改心し、感謝祈願祝詞（みやびのことば）にありますよう、天地すめかみの神子（みこと）と生まれ出でたる其本分（そのつとめ）を尽くさせていただきます。』とお示しくださ



いました。一人ひとりの岩戸が開けますように、まずは自分の身近な足元にある最も易しい簡単なことからきつちりできるようにしましょう。そして教主さまの新年のご挨拶で紹介されました、導師さまの十訓一、強く正しく二コヤカに、二、上見て進め下見て暮らせ、三、真剣の前に不能なし、四、論で負けても行いで勝て、五、長所と交われれば悪友なし、六、話上手より聞き上手、七、己に克つて人には譲れ、八、急ぐな休むな怠るな、九、向上の一路に終点なし、十、仲よく働け笑って暮らせ、をいつも心に留めて実践させていってください。そして今年も弥仙山岩戸開き百二十周年の記念の祭典が行われます。教主さまは二十年前の弥仙山岩戸開き百周年記念祭典の思い出を語られました。私もこのウオーク隊に参加させていただき、教主さまと綾部から弥仙山山頂まで登らせていただきました。当時大変感動したことを思い出しました。また、ご挨拶の中で「百二十年前に行われました弥仙山岩戸開きは大本の歴史上大変重要な神事であり、開祖さま、聖師さま、二代さま、三代教主さまの神的な働きを学ばせていただき、また歴代の教祖祖さま方のご神業をお偲び申し上げるためにも、今年の弥仙山岩戸開き百二十周年記念祭典には、何とぞ大勢のご参拝を頂きませう様お願い申し上げます。」と述べられました。教主さまのみ心にかないますように弥仙山岩戸開きの意義を噛みしめながらこの祭典に多くの方々と共に参拝させていただけるように今から準備をよろしく願います。そして今月も本苑の冠沓句に多くのご投稿ありがとうございます。また後程、本苑の部の表彰をさせていただきますので、来月も奮ってより多くの投稿を

おまちしております。本日は天声社の猪子恒社長に来ていただいております。この後、皆様に耳寄りなお話があるということでありませうのでご期待ください。また、直会後に谷内滋治先生より冠沓句についてのお話を聞かせていただきますので、3月の慰霊祭では多くの方の冠沓句の投稿をよろしく願っています。最後になりますが、コロナ感染者が増加傾向ではありませんが、来月も多くの皆さまと共に参拝できませうように、引き続きコロナの終息並びにロシアとウクライナの軍事紛争が一日でも早く終息し、合わせてトルコ、シリア大地震において一日も早く平安が訪れますように祈願祝詞の継続をお願いいたします。と述べた。続いて増井さえ子先生によるエスペラントについてのお話があり、芸術部より冠沓句の表彰で枚方分所の小笹順子さんが選ばれた。その後天声社の猪子恒社長によりお話をされた後、水田良司編集部長によるお知らせの後、直会に移った。続いて月次祭講話として谷内滋治先生による「冠沓句のすすめ」と題した講話を拝聴し、全員で基本宣伝歌を斉唱し終了となった。飲の家ではみどり会によるお楽しみ会があり、各所に文化教室が開催された。ご神前では分所支部長会議の後世界連邦役員会が行われた。（参拝者145人）



大本大阪本苑
2月月次祭



2月乙姫様月次祭執行

春の気配を感じさせる2月25日(土)午後1時より齋主・岩崎誠子、祭員・小西靖子・亀岡美和子・町村加保里、伶人・小野なおみ・高田茂子各氏により清々しく執行された。宮田眞美・西ヒロ子各氏はつるかめ抄『教育編』を拝読。参拝者は75名。祭典後は今回「唯心聖教」の黄詩評氏が参拝され挨拶された。女史は台湾出身で現在、唯心聖教大阪道場責任者として河内長野在住との事。大本とは2018年3月より交流が始まり、今後とも交流を深めていきたいと話された。水田千寿連合会長からは節分大祭ご奉仕のお礼をお礼を述べられ、3月からグリン活動で中庭の草抜きを再開する旨を伝え、又、9月の祭典には午前中に月次祭を執行し午後から慰霊祭を執行する予定になった報告があった。芸術部からは4月の天恩郷添え釜と本苑月次祭お茶席当番の連絡があった。その後、「令和4年度総会」を開催。直心会活動・会計報告・献金バザー報告の後、お茶席当番・玉串捧奠のやり方内容について意見が出た。直心会として新たな気持ちの中、閉会となった。

企業繁栄祈願祭執行

去る3月5日(日)午前10時より「大阪本苑企業繁栄祈願祭」が齋主・伊藤香本苑次長のもと、竜宮の乙姫様御前で清々しく執行された。(申込企業45社・参拝者47人)祭典は八雲琴の清らかな音色の中、齋主・祭員が大神様神前に入殿。祓式行事の後、齋主が「世界平安祈願祝詞・新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞」に続き「企業繁栄祈願祭奏上祝詞」奏上、その後



乙姫様 2月月次祭



直心会会員向上祈願祝詞奏上

全員で「天津祝詞」を奏上。祭員は竜宮の乙姫様御前に移動し、齋主「企業繁栄祈願祝詞」奏上(辞別して起業成就祈願をも含め奏上)後齋主玉串捧奠に続き伊藤忠茂本苑長、参拝の企業代表者全員が敬虔に玉串を捧奠した。

祭典後、本苑長より「今、ロシアのウクライナ侵攻と新型コロナウイルス流行で世界は大変な時代を迎えています。皆さま方には今後とも大神様のおかげを頂き会社が益々発展されるようお祈りさせて頂きます」と挨拶した。その後、参拝者には一人ひとりにお菓子和菓子とコーヒーが配られ、ゆっくりとした歓談のひと時を過ごした後、お供えされた御札・お神酒・お菓子と神饌物のご下付を受けられて帰途についた。この御祈願には他府県からの申込企業もあった。尚、このご祈願は祭典後1週間、本苑において続けられる。



玉串捧奠 (企業代表者)



齋主「企業繁栄祈願祭祝詞」奏上

なにはづ短歌会報告

なにはづ短歌会(第百三十四回) 2月11日(土) 浅田弘子先生ご指導のもと開催。出詠者17名 出席者9名 詠草34首 (1月の詠草より) (敬称略) 中野 眞由美

本苑にて学びしエス語 分所でも友らと集ひ音読をせり 杖つかず月次祭の準備する 痛みの無くなりし動き喜ぶ

短歌会は毎月本苑月次祭の前日の土曜日午後1時より開催しています。詠草は本苑にお送りください。

松山だより

昨年2月に初めて松山に参加しました。山に着いたとき、自然とのふれあいで体へのマイナスイオンがすごいと感じました。旅行では、自然の山々を見ていますが、山の中で作業をするのは初めてでした。私自身できるかなと思っていましたが、松本相談役、桑名さんにご指導を受け、たくさんあった作業が一日で終わることが出来ました。その後約1年間参加いたしました。だんだんお山に行くことの楽しみができましたが少しづつ体が山に慣れると自然の厳しさを知り、また季節の移り変わりを楽しめるようになりました。また虫にさされたこともありましたが、落ちてしまったこともありません。それも作業中の良い思い出、女性でも機械で草刈りができたことがとても楽しかったです。昼には食事しながらいろいろ話をし、楽しく食べ、休憩のときには、冬には温かい、夏には冷たいコーヒーやおやつを出してもらいました。なにもかも教えてもらい、たくさん経験をすることが良い思い出です。 鶴橋分所 久井 照子

松山ご奉仕は、第1、3、5土曜日と本苑月次祭前の木曜日の午前9時に大阪本苑から出発します。 次回は3月18日(土)です。 来月は4月1日(土)・6日(木)・15日(土)・29日(土)です。(天候、その他により中止の場合があります。)



教本認定授与

- 教本1級認定 (順不同・敬称略)
- 村上 直枝 (城東分所)
- 播 郁子 (三島分所)
- 教本3級認定 (順不同・敬称略)
- 山田 洋子 (松月支部)
- 大城 信香 (松月支部)



高熊山献勞奉仕報告

大阪本苑青松会では2月11日(土)高熊山の献勞奉仕を行った。

参加者は12名。午前9時に天恩郷へ集合し、万祥殿前でお礼拝した後にマイクロバスで高熊山へ移動。岩窟前のお礼拝後、全員で参道の落ち葉をかきを行い心地よい汗をかいた。その後本部食堂で昼食をとり、午後は2グループに分かれて作業を実施。男性は高熊山で丸太や枝の運搬整理、女性や子供は堆肥場で袋詰め作業の補助を行った。午後3時で作業を終えて天恩郷に戻り、お礼拝の後に解散した。晴天に恵まれ日中は暖かかったため、とても清々しい一日となった。 次回は7月17日(月祝) 海の日に開催予定です。

第2回「令和5年 生きがい公開講座」配信

3月1日(水)第2回は「エスペラントでつの世界を!!」世界の人と対等に話せる言葉」と題して、増井さえ子 エスペラント講師によりユーチューブ「人類愛善会大阪チャンネル」で配信を開始しました。

未信徒の方、
家庭内未信徒、
未自覚信徒の方
の聴講をお勧め
ください。



増井さえ子 講師



ユーチューブ「人類愛善会大阪チャンネル」で配信中

「令和5年生きがい公開講座」予告

4月「大本の神示と世界の将来」

「出口なおの預言・警告」

浅田 秋彦 人類愛善会大阪協議会顧問

出口なおの預言の内容は、末法の世と言われる混沌の世を立替え直し、世界恒久平和、地上天国を実現することを。その過程に起こる様々な問題、概して言えば、人類の上に襲い掛かる不幸、災害、困難の大峠についての預言と警告である。

6月 巨人 出口王仁三郎「みろくの世」
未延 隆利 大阪本苑特任宣伝使
8月 人は死んだらどうなるの！
～あの世は在るの？～

10月 神と人との関係

乾 清高 大阪本苑参事
～神とは何か！人とは何か！～

12月 芸術は宗教の母なり

田辺 嘉一 大阪本苑特任宣伝使
～大自然は神の芸術である～
神門 明子 大阪本苑参事

● 大本少年春期学級

短日開催で少年春期学級が開催されます。ふるって参加してください。

【日時】 4月1日(土)
【会場】 亀岡市天恩郷
【対象】 新小学3年生～新中学3年生
【費用】 10000円
(信徒の参加費は全額本苑が負担)

【締切】 3月20日(月)
【申込】 大本本部青年部事務局
(詳細は「大本」誌2月号11頁を参照)

● 高校生講座のご案内

高校生講座が開催されます。ふるって参加してください。

【日時】 3月27日(月)～29日(水)
午前9時(受付)～午後5時ごろ
【会場】 亀岡市天恩郷
【対象】 新高校1年生～3年生
【費用】 7000円
(信徒の参加費は全額本苑が負担)

【締切】 3月20日(月)
【申込】 大本本部青年部事務局
(詳細は「大本」誌2月号10頁を参照)

● 毎月冠沓句の募集と発表

句題は毎月次祭時に発表。
次月の月次祭時に入賞者を発表します。賞品あり。用紙は自由です。(FAX可)
分所、支部、氏名をお書き下さい。
締め切りは月末です。沢山のご応募をお待ちしております。 芸術部

【2月の冠沓句】(敬称略)
冠句 梅の香の、善き心、おそれずに
沓句 春を待つ 集句 17句
天位 貝塚分所 内藤義雄
梅の香の匂う松山ご奉仕を

◆ 3月の冠沓句句題 ◆
冠句 ひな人形、あたたかな、祖霊さま
沓句 春は来ぬ

● 本苑春季慰霊大祭のご案内

3月26日(日)午前10時より大阪本苑春季慰霊大祭を執行いたします。
大阪本苑に縁ある神霊様の御祭です。多数のご参拝お待ちしております。
祭典後は、第35回には「芸術文化祭」を開催致します。

奉納行事(予定)
◆ 一絃の会の皆さまの八雲琴演奏
◆ 霊界物語役劇拝読
◆ ぼたえもん童話劇「夢の浦島」
奉納の前に、お待ちかねの冠沓句開きをいたします。どうぞ、お楽しみに。

● 二代様毎年祭選擇祭のご案内

3月31日(金)10時より二代教主様の71年目の毎年祭選擇祭を執行致します。
ご参拝をお待ちしております。

● 大阪本苑春季大祭のご案内

4月9日(日)午前10時より大阪本苑春季大祭を執行いたします。多数のご参拝をお待ちしております。
当日入試感謝奉告祭を執り行わせて頂きます。1月の入試合格祈願に参拝された方は、是非ご参拝下さい。

● 春のレクリエーションのご案内

育成部では左記の通りに春のレクリエーションを企画しています。(陶芸体験)奮ってご参加下さい

【日時】 令和5年 4月9日(日)
大阪本苑春季大祭祭典後
【行き先】 大阪市立 クラフトパーク
【対象】 青少年及び保護者
【参加費】 青少年無料(保護者一人千円)
【集合】 大阪本苑
【解散】 午後5時頃(予定)
(クラフトパーク現地解散可)
【締切】 3月30日(木)

● 四代教主毎年祭選擇祭のご案内

4月29日(土・祝)10時より、四代教主様を偲び、22年目の毎年祭選擇祭を執行致します。多数のご参拝下さい。

● 大本生きがい常設講座のご案内

大阪本苑では、毎月2～3回土曜日に「大本常設講座」を開催しています。
未信徒・家庭内未信徒のお誘い合わせ宜しくお願致します。

○ 午前10時より 『身の上相談』
○ 午後2時より 『生きがい講座』
第1土曜日 神と人との関係?
神は存在するの?人の心とは?
第3土曜日 死んだらどうなるの?
人は死ぬと宇宙から消えるのか?
第4土曜日 人は何のために生きているの?
人生に目的などあるのか?
○ 午後3時半より 『み手代お取次』
※一部の参加だけでも構いません。
参加費無料。お気軽にご参加ください。
【開催予定日】 3月18日・3月25日
4月1日・4月15日・4月22日

エス語献詠歌を送りましょう!

本年9月17日に行われるEPA100周年記念の「エスペラント歌集」のためエス語献詠歌を作るには、ひなびり調の朗詠に合わせるためリズムを整える必要があります。いくつか決まりがあります。それについて本苑月次祭後のエス語文化教室(別館の台所)にて講習します。またエス語短歌の添削、相談も受け付けますので気軽にお越しください。

本苑所蔵 お作品介绍

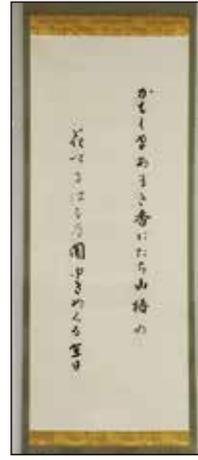
【作】 三代教主様
【作品名】 12ヶ月の歌 3月
かもし草あまき香にたち山樺の
花てるはる乃園ゆきめくる
【サイズ】 H690×W270



「草花文」
三代教主様



「葉皿」
五代教主さま



み手代お取次

3月月次祭 浅田 信 宣伝使
春季慰霊大祭 野口 昌則 宣伝使
4月春季大祭 西野 泰 宣伝使
5月月次祭 西野 秀味 宣伝使
※お取次ご希望の方は事務所まで申し出て下さい。

お詫びと訂正

先月号の講話写真説明文に誤りがありました。下記のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。



【内 容】 枯れし葉をつけたるままに
黄の色乃アテツマンサフは雪の中に咲く
【作品名】 短冊「神聖」
令和4年 11月号掲載
令和5年 2月号掲載

3月～4月(一部) 行事予定

Table of events for March and April, including dates, times, and event names like '本苑月次祭・ひなまつり' and '本苑春季慰霊大祭'.

Table of events for April, including dates, times, and event names like '常設講座「神と人との関係」' and '本苑春季大祭・入試合感謝報告祭'.

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により変更になる可能性があります。

SDGs Sustainable Development Goals logo and text about environmental protection and social contribution.

神饌物献納御礼 (Divine Offering Dedication) notice regarding the 2nd festival and donations.

前田純特命派遣宣伝使在阪日程 (Matsuda Jun Special Mission Dispatch) for April 1st and 2nd.

新入信徒ご紹介 (New Members Introduction) for the March issue, listing names and ages.

本苑日誌 (2月) (Institutional Diary) listing various activities and events for February.

Home page and YouTube information with QR codes for '大本大阪本苑' and '人類愛善会大阪'.